

# 耕作放棄地を再生利用、 農業と食品廃棄物リサイ クルによる循環型農業

第二の柱として今後成長の見込まれる農業に進出し、食品廃棄物のリサイクル事業に取り組む。耕作放棄地の再生・利用と雇用の創出にも貢献。

所在地：石川県金沢市大野町4丁目レ40-172  
TEL 076-239-4959  
FAX 076-238-9255  
URL：<http://kdf-group.jp/>

代表者 金岡 久夫  
設立：1965年(昭和40年)  
資本金：5,630万円  
従業員数：26名



## 地域インフラ整備と第二の柱として農業に進出

同社は、1965年の設立以来、金沢市を拠点として公共事業を中心とした地域インフラ整備を手掛け着実に成長を遂げ、現在では数社に及び企業グループを形成し、多方面に事業を展開している。土木建設業を本業としながらも、将来的な受注減少が見込まれる中、第二の柱として今後の成長産業である農業に進出している。また、食品廃棄物のリサイクル事業を手掛けており、食品廃棄物を原料とする土壌活性液を製造し、農業と食品リサイクルを組み合わせた循環型農業を展開している。



金剛ファーム（自社農場）

## 地域の中で循環型農法を実現、食育活動にも一役

同社の農業への取組は、地場の食品メーカー・外食産業からの食品廃棄物の引き取り、同廃棄物を利用した土壌改良材の製造、土壌改良材を利用した農産物の生産、地場外食産業や同社グループ企業が運営する飲食店などに生産した農産物の納入と、地域の中で循環型農法を実現させたものである。

また、耕作放棄地の再生・利用や新たな雇用の創出の他、地域の幼稚園生等に食育活動の一環として農作物の収穫作業を体験してもらう等、地域活性化にも寄与している。



## 新たな再生可能エネルギーの創造

同社は農業を行う傍ら、農業用防風発電装置の研究開発を行っている。農産物の成長の妨げとなる強風を防ぐとともに、新たな再生可能エネルギーの創造を目指している。将来的には、同社の圃場のみならず、多くの場所で活用できるよう製品化し、新たなビジネスモデルを確立し、さらなる雇用拡大を図り、地域活性化に向け取り組んでいる。



農業用防風発電装置